

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)長岡京市調子2丁目有料老人ホーム

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 ■評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.8)

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40			2.9
1 音環境		2.3	0.15	2.5	1.00	2.4
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		2.4	0.40	2.8	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		2.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	専)個室でLr値=50	-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.4	0.35	2.2	1.00	2.3
2.1 室温制御		3.2	0.50	3.4	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 断熱性能		-	-	-	-	
3 外皮性能	屋根・外壁部に断熱材を施工	4.0	0.25	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		2.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.5	0.25	3.8	1.00	3.0
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	待)エントランスロビー:2.94%,診)健康管理室:3.62%,専)個室:1.33%確保	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		3.0	0.40	3.0	0.40	
3 昼光利用設備		2.0	0.30	3.0	0.30	
3.2 グレア対策		2.0	1.00	3.0	1.00	
2 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御	専)個室:ベッド単位の細かな照明制御・部分照明が可能	1.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.25	3.7	1.00	4.0
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材をほぼ全面に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		4.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量	共)換気量1.4倍以上 専)個室:1/15以上	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.7
1 機能性		4.0	0.40	4.6	1.00	4.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	専)個室:10m ² /床以上確保	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画		5.0	0.30	4.0	0.40	
1.2 心理性・快適性		-	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観		5.0	1.00	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、事前に検証を行っている	4.5	0.30	-	-	
3 内装計画		5.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレの壁・床に防汚性建材を採用、風除室の扉は十分な距離を保つ	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	ゴミ置き場を確保、専用部以外の設備は共用部での維持管理作業が可能	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	弾性吹付タイル(アクリルリシン同等):30年	5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種-給水(B)汚水排水/雑排水(B)で、Eは不使用	5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.19				
1	空調・換気設備		3.0	0.20				
2	給排水・衛生設備	グリーン購入法対応の衛生器具、排水系統の細分化	4.0	0.20				
3	電気設備		3.0	0.20				
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20				
5	通信・情報設備	光・ケーブル等通信の多様化、精密機器を地上階に設置	4.0	0.20				
3 対応性・更新性			3.6	0.29	3.4	1.00	3.5	
3.1 空間のゆとり			2.2	0.31	1.8	0.50		
1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	1階で壁長さ比率=0.24	4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり		共)4500N/㎡以上、専)個室:2900N/㎡以上	5.0	0.31	5.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.6	0.38				
1	空調配管の更新性		3.0	0.17				
2	給排水管の更新性	PS、天井配管、躯体打込みでない	4.0	0.17				
3	電気配線の更新性	EPS、ケーブルラック・天井内転シ配線、天井点検口の採用	5.0	0.11				
4	通信配線の更新性	ケーブルラック・天井内転シ配線、天井点検口の採用	5.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
6	バックアップスペース		3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				0.30				2.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30				3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	レストラン・デイサービススペースを一般開放し提供、夜間照明の設置	4.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.6
LR1 エネルギー				0.40				3.9
1 建物の熱負荷抑制		PAL値=302.9MJ/年㎡で、建物の断熱を適切に記し外壁や窓を通しての負荷に配慮	3.5	0.30				3.5
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20				4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50				
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を採用、15MJ/㎡・年以上の利用	5.0	0.50				
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用	5.0	0.30				5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=42.3%	4.0					
集合住宅の評価								
4 効率的運用			3.0	0.20				3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル				0.30				3.4
1 水資源保護			3.4	0.15				3.4
1.1 節水		節水型便器や自動水栓を積極的に採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63				3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20				
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル	3.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+石膏ボードにより、躯体と仕上材の分別が容易/PS・天井内配管により設備との錯綜を回避	5.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68				
1	消火剤							
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	5.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境				0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2 : 65%	4.4	0.33				4.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25				
1	雨水排水負荷低減							
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33				
3	交通負荷抑制		2.0	0.33				
4	廃棄物処理負荷抑制	屋外にゴミ庫確保、各階にゴミの分別回収ボックスを設置	4.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	1.00				
2	振動							
3	悪臭							
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制							
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明がない	5.0	0.70				
2	発光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				